

令和8年2月8日執行
衆議院小選挙区選出議員選挙
— 第3区 —

選挙公報

投票日 2月8日(日)

愛媛県選挙管理委員会

主要政策5本柱 ～中道改革連合でわたしが目指すもの～ 人間主義に立脚した新しい選択肢

I. 物価高に負けない地域へ

- 物価高からあなたを守る物価・消費税対策
- みなさんの給料を引き上げます 中小企業と賃上げのセット支援
- 光熱費に悲鳴をあげない暮らしへ 電気・ガス料金と省エネ支援

II. 子どもと若者に本気の社会へ

- 子ども予算を大胆に拡充“本気の子育て応援”
- 給食と学びにお金の心配はいらない 教育費・給食費の負担ゼロへ
- 大好きな地元で働ける幸せ 愛媛3区から選べる働き方

III. 農林水産業と地域産業を守り育てる

- みかん・柑橘・農業を守る 再生産できる価格と所得補償
- 宇和海と愛媛3区の漁業・養殖を守る 次の世代へ
- 山も仕事もしっかり守る～中山間地と林業を“稼げる現場”に

IV. 「ここで暮らし続けられる」を当たり前

- 安心して地元で暮らして生ける社会へ 地域の医療と介護を守る
- 免許返納したら移動できない社会は終わりに～くらしの足を守る
- 毎年の“記録的豪雨”と南海トラフ地震に備える～防災・減災に本気で投資する

V. 政治を「遠いもの」から「参加するもの」へ

- 政治とカネ問題とは決別“不断の政治改革と選挙制度改革”で信頼を取り戻す
- 地域のことは地域で決める力を取り戻す
- 「現実的な外交・防衛政策と憲法改正議論の深化 平和国家日本を守る

中道とは、人間の幸せを第一に、生命・生活・生存を最大に尊重する人間主義という考え方です。生活者を第一に、多くの方が安心して暮らせる社会を目指します。分断と対立をあおる政治ではなく、草の根の庶民大衆とともに、人間主義の理念に基づいた生活者ファーストで改革を進めていきます。

また、日本を取り巻く安全保障環境が厳しさを増す中で、平和国家としての理念を堅持し、現実的な外交防衛政策により「愛する日本を守る」ことをお約束いたします。何よりも大衆の喜びや悲しみを共にする中にごそ私どもの政党の存在価値があります。今の政治に新しい選択肢をみなさまにお示しし、政権交代を必ず実現いたします。

人間主義に立脚した 新しい選択肢



衆議院議員候補・中道改革連合公認

はぎわら
あきひと
40歳

元愛媛県職員

はぎわら あきひと PROFILE

1985年12月7日生。早稲田大学在学中に、ジャーナリスト田原総一郎氏の主宰する「大隈塾」で学ぶ。卒業後、愛媛県庁に16年間勤務。行政サービス・行政事務を担当し、議会DX推進業務にも従事。2025年に退職し、立憲民主党本部職員(国会対策委員会)となる。

比例区は



中道改革連合

Centrist Reform Alliance

愛媛3区

宇和島市・八幡浜市・大洲市・西予市・伊予市
東温市・久万高原町・砥部町・松前町・内子町
伊方町・鬼北町・松野町・愛南町

— 長谷川じゅんじ 8つの挑戦 —

挑戦
1

官民の連携で地域経済を立て直す

官民連携による戦略投資(AI、半導体、造船など)で「令和の企業城下町」を愛媛はじめ全国各地に形成、中堅企業の成長投資支援、中小企業・小規模事業者の賃上げ支援 など

挑戦
2

農林水産業を成長産業へ

食料安全保障の強化、農畜産物の適正な価格形成、中山間地農業への支援強化、森林の集積・集約化と木材利用拡大、漁場保全と養殖漁業のセーフティネット強化、海業の推進 など

挑戦
3

命と暮らしを守る強靱な国土づくり

H30.7豪雨災害からの復興、肱川・重信川流域の治水対策、南海トラフ地震対策、上下水道の老朽化対策、資材高騰や労務費上げを踏まえた国土強靱化予算の増額 など

挑戦
4

未来を創る「人」への投資

保育士・幼稚園教諭の処遇改善、公立高校の魅力化、地方大学の定員増と大学の地方移転、奨学金返還支援制度の拡充、より働きたい方を後押しする雇用環境の見直し など

挑戦
5

地方の成長を支えるインフラ整備を加速

高速道路の南予延伸・4車線化、九州との国土軸をつなぐ大洲・八幡浜自動車道や基幹道路(国道33号・378号線など)の整備、JR予土線はじめ地方鉄道網の活性化 など

挑戦
6

地域の医療・介護・福祉の現場を守る

医療・介護・福祉人材の処遇改善、地方の医師・看護師確保対策、創薬力強化・医薬品安定供給、生涯を通じた国民皆歯科検診、負担能力に応じた安心・納得の社会保障制度へ など

挑戦
7

「シン・地方創生」で少子化・人口減少を克服

「人口戦略」の策定、企業・大学・税源などの東京一極集中の是正、省庁の地方移転、電力供給地である地方への産業集積、二地域居住の推進、自動運転・遠隔医療の普及 など

挑戦
8

「強い外交・安全保障」で国益を守り抜く

「新たな戦い」にも対応できる防衛力の抜本的強化、日米同盟のさらなる深化、同志国との連携拡大、自衛官の処遇改善、首脳同士の対話を含め拉致問題の解決へ全力 など

日本の地域の 未来へ挑戦！

SNS発信中！



長谷川じゅんじの役職

衆議院 内閣委員会・理事

農林水産委員会、政治改革特別委員会、
東日本大震災復興及び原子力問題調査特別委員会

自民党 選挙対策本部：選挙対策副委員長

広報戦略局長、政治制度改革本部・事務局長
過疎対策特別委員会・事務局長など

議連 養殖漁業懇話会・事務局長、真珠振興議連・事務局長、
セルフメディアケーション議連・事務局長など

プロフィール

生年月日 昭和43年(1968年)8月5日(57歳)
学歴 東京大学(法学部)卒業
略歴 平成3年自治省(現総務省)入省
中村時広知事1期目の副知事を務める
内閣参事官、総務省地域政策課長などを歴任
令和3年10月総選挙にて初当選
令和4年12月総務大臣政務官(～令和6年11月)
令和6年3月自民党愛媛県連会長に就任
10月総選挙にて再選
特技 マラソンベスト2時間49分のサブ3ランナー



自民党

はせがわ
長谷川じゅんじ

地方から日本を再生し、
誇れる日本を創る。

地方から日本を再生し、
誇れる日本を創る。

初当選以来、皆さまとの約束を胸に、日々国政に取り組んでまいりました。また、総務大臣政務官として、能登半島地震への対応や地方税財源の確保など、重要政策に携わりました。すべては日本と愛媛の未来のためです。内外の厳しい課題に直面している今こそ、日本と日本人、そして地域の底力を信じ、地方を再生し、国力を高め、国益を守り抜くため、政策課題にひたすら挑戦します。党の信頼回復にも真摯に取り組みます。政治に求められるのは、皆さまの声を形にする政策力と実行力。長谷川じゅんじは、これまでの経験・実績を活かし、日本と愛媛の未来のために全力で働き、必ず結果を出します。

長谷川 淳二

令和8年2月8日執行
衆議院小選挙区選出議員選挙
— 第3区 —

選挙公報

投票日 **2月8日** 日
愛媛県選挙管理委員会

暮らし 平和 人権

国民のためにブレずにはたります — 高市政権と正面から対決、自民党政治を変える —

① 大株主・大企業応援から 暮らし応援に

- 消費税廃止をめざし、ただちに一律5%への減税を。インボイス廃止
- 医療機関や介護施設への支援拡充、医療や介護報酬のさらなる引き上げを
- マクロ経済スライド廃止し、物価上昇にみあった年金額の引き上げ
- 大学の学費は半額に引き下げ、入学金は廃止

② ジェンダー平等を前に — 権利と尊厳を尊重する社会に —

- 選択的夫婦別姓をただちに。同性婚実現を
- ハラスメントを包括的に定義し、明確に禁止する法整備を
- 災害や防災対策にジェンダー視点を徹底する

③ 気候危機打開・原発ゼロに — 持続可能な社会を —

- 原発再稼働や新增設はストップ。原発ゼロへ伊方3号機も廃炉に

地方も民意も切り捨てる衆議院議員定数削減は許しません。
身を切るなら、政党助成金廃止、企業・団体献金禁止こそ。

- 農地でのソーラーシェアリングの普及など農業振興と脱炭素をセットで

④ 食と農を守り、 第一次産業の振興を

- コメの市場任せやめ、コメの生産と備蓄量を増やす。価格保障や所得補償による生産者支援を
- 食糧自給率を早期に50%に。輸入自由化を転換し、食糧主権の回復を
- 「新規就農者総合支援法（仮称）」をつくり、生活費、農地や住宅、販路確保など総合的支援に国が責任をもち、とりくむ

⑤ 「力の支配」を公言する トランプ米政権に追随する 大軍拡・戦争国家づくり許さない

- 集団的自衛権行使容認の閣議決定撤回と安保法制廃止
- 非核三原則を堅持させ、核兵器禁止条約への参加を
- 「東アジア平和提言」にもとづき、憲法9条いかし平和をつくる外交に注力

財源は大企業・大株主、富裕層に応分の負担を求めます！

プロフィール 1957年三重県生まれ。愛媛大学工学部卒。現在、党南予地区委員長、県委員。



にし
西井 直人
なおひと

日本共産党

比例代表は **日本共産党** とお書きください



衆議院小選挙区選出議員選挙
衆議院比例代表選出議員選挙
最高裁判所裁判官国民審査

投票日 **2/8** (日)

期日前投票期間

衆議院議員総選挙：1月28日(水)～2月7日(土)
最高裁判所裁判官国民審査：2月1日(日)～2月7日(土)

投票時間は 午前8時30分から午後8時まで（一部地域を除く。）

期日前投票期間にご注意ください！



愛媛県選挙管理委員会

詳しくは 愛媛県選挙管理委員会 で 検索